



ぐるっとマップ No.261 各地に残る雨乞い伝説

保存版

マップ作成: NPO法人ぐるっとネットワーク大町

梅雨の季節は青空が恋しくなりますね。かといって、空梅雨では夏の水不足が心配です。昔は雨を待つ人々の思いはもっと切実だったので、各地に雨乞いの伝説が残っています。水不足も豪雨も困りもの。今年はどうか、「平年並み」の雨に恵まれますように。

2. 小谷村南小谷 黒鼻権現には天狗がいるというので、昔から雨乞いをしたそうです。日照りの時には戸隠のたね池から水を借りて黒鼻山頂で三日一夜の雨乞いをしたところ、大雷雨となったといわれています。



1. 小谷村来馬 昔小谷地方が旱魃で困った時、来馬では村中で風吹岩の大池へ行って雨乞いをしました。池の中の大岩で祀祠をあげるとたちまち大雨になり、大蛇が現れて岩を巻き、神主はそれかきまわして死んでしまったといわれています。

3. 白馬村北城 深空

旱魃の時にはまず戸隠山から水を持ち、途中地にまきながら来ると大概雨が降ったそうです。それでも降らない時は、西の八方池で雨乞いをしました。沢渡の上の前岳で千駄焚きをし、また降らなければ八方の池で賑やかなお祭りをして雨乞いをしたそうです。



6. 大町市平中綱 かつて中綱湖のほとりに十国寺という寺があり大きな鐘がありました。地震で湖に沈んでしまいました。ある年の旱魃時、湖畔の寺の半鐘と湖底の鐘を結びつけると大雨が降り、紐を解いたら雨はやんだといわれています。



7. 大町市平ニツ屋、大町市九日町

昔から大町地方には仁科七面という七つの面がありました。昔大澤寺の面を木崎湖に沈めて祈禱をしたらたちまち大雨になったといわれています。また九日町の清姫の面は、若一王子神社の夏祭りの舞台の破風につけるものですが、その面を出すと必ず雨が降るといわれています。

8. 大町市社宮本 神明宮にある木彫りの唐猫様を高瀬川につけると必ず雨が降るといわれています。丸太を組んで松の青葉で飾った輿に乗せ、皆で担ぎ下りますが、大抵は川まで行かないうちに雨が降ったそうです。



17. 池田町広津菅田 原峰の雷電様に雨乞いの祈願をし、「奉雨乞八龍神」と書いた大旗を立てて氏子一同で雷電様を犀川辺に遷し、祭りをすると必ず雨が降ったといわれています。

18. 池田町広津北足沼 阿弥陀堂の前のおみたらしの池の水は、阿弥陀様のお下ぐださる水で潤れることがないといわれ、雨乞いの時は、石の本尊を池の中に入れて水をかけるとたちまち雨が降るといわれています。



19. 池田町広津北山 水産神社のご神体は大蛇だと言われ、どんな旱魃でも氏子が真心を込めて祈願すれば三日と経たないうちに大雨が降るといわれています。

20. 池田町会染滝

瀧の澤には、昔龍王が自分の尾の剣で掘ったと伝わるすり鉢状の穴が7つあり、剣が鉢と呼ばれています。このお鉢に溜まった土砂を順に掘り出すと雨が降るといわれ、昔から大がかりな雨乞いの神事が行われてきました。滝沢城址登山口には石碑があり、お鉢掘りした年月日が記されています。



4. 白馬村北城 横方

このお宮を雨降宮というのは養老6(722)年に諏訪明神を祀って雨乞いをしたら雨が降ったため、昔から日照りの時は方々から雨乞いに来たといわれています。

5. 白馬村神城 沢渡

沢渡では水田が増えるにつれ水が不足するようになり、今から300年程前に日照りに困った村人が戸隠神社へ願かけをしました。「今後5月の節旬には鞍をつけた馬は沢渡沖を通さないから雨を降らしてほしい」と。それ以後5月5日には見張りを立て、明治のはじめまで、鞍をつけた馬を通さなかったそうです。

9. 大町市美麻大塩

大塩の西の池には竜神様が住んでおり、雨乞いに霊験がありました。旱魃の時には大町の聖松寺の僧侶を全部頼んで雨乞いをしたそうです。お経が済んで酒を瓶に入れて栓をし、池の中央に沈めると必ず雨が降るといわれています。

10. 大町市八坂舟場

村の代表が大岡村の聖山に行ってその池の水を樽に詰めて持ち帰り、みなでその周りを「雨をぶらかせたんまの聖山の権現坊」と唱えながらまわります。まわる時にその水を少しづつ地面にまき散らすと雨が降ると伝わります。

11. 大町市八坂上巻

大姥様の宮へ村中の者が集まってお籠りをすると大抵は雨が降ったそうです。それでも降らない時には松の木の枝を千駄切り集めて、大姥様の拜殿の前でいしながら雨乞いをすると必ず降るといわれています。

12. 大町市八坂大洞

村外れの清水池をかき濁すと雨が降るといいます。それでも降らない時は池の水を汲み干すと降ったそうです。

13. 大町市八坂大塚

一瀬の人まと呼び浴びて城の峰へ雨乞いに行き、「聖山の権現坊、雨を降らせたまいな。天竺天王龍たつせい、雨を降らせたまいな。戸隠山の権現坊、雨を降らせたまいな。」と唱えながら円になって巡ったそうです。

14. 大町市八坂池の平

今は焼失してしまいましたが、池の平には行基の作と伝わる虚空蔵様がありました。日照りに困る時はこの虚空蔵様を犀川にお連れし、舟に乗せるか水を浴びせると雨が降ったといわれています。

15. 大町市八坂小松尾

小松尾から石原に落ちる滝に裏見の滝がありますが、水源は小さな池で、この池の水を換え干せば雨が降るといわれ、昔は必ず降ったそうです。

16. 大町市八坂藤尾

藤尾の観音堂はたぐさの木ぼこ(木の人形)が一晩で建てたといわれ、この木ぼこを堂前の石舟に沈めると必ず雨が降ったといわれています。木ぼこ木ぼこの建てたお堂は明治45年の火事で焼けてしまい、今はありません。

※このマップは、「北安曇郡誌談稿」の口碑傳説篇を参考に作成しました。

このマップでは、四季折々の地域の魅力を再発見するために、皆様から情報をいただきながら様々な切り口で紹介してまいります。ぐるっとネットワーク大町事務局: TEL 0261-85-0556 FAX 0261-85-0557

※このマップは、2020年6月26日付の大糸タイムスに掲載されました。
※情報は掲載当時のものです。ご注意ください。
※個人で楽しんでいただくためのものです。二次利用をされる場合にはご相談下さい。